

## 第6回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨

1. 日時：2019年10月30日（水）14:00～15:00
2. 場所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階 313会議室
3. 出席者（敬称略）：

日本歯科保存学会（齋藤正寛）、日本補綴歯科学会（山田将博）、日本歯科理工学会（岸田晶夫）、日本歯周病学会（齋藤 淳）、日本歯科医療管理学会（尾崎哲則）、日本歯科薬物療法学会（松野智宣）、日本口腔インプラント学会（矢島安朝）、日本臨床口腔病理学会（前田初彦）、日本歯内療法学会（五十嵐勝）、日本顎変形症学会（片桐 渉）、日本顎顔面インプラント学会（矢島安朝）、日本外傷歯学会（宮新美智世）、東京形成歯科研究会（奥寺 元）、国公立大学歯科臨床研究推進会議（栗原英見）、日本再生医療学会（大島勇人、江副幸子、飛田護邦、古川和親、眞野恭輔、海江田千鶴）  
欠席（歯科基礎医学会、日本歯科医史学会、日本接着歯学会、日本顎顔面補綴学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔顔面痛学会、日本歯科医学会）  
未回答（日本口腔外科学会、日本レーザー歯学会、日本口腔感染症学会、日本有病者歯科医療学会、日本歯科心身医学会、日本小児口腔外科学会、日本口腔リハビリテーション学会、日本口腔科学会、日本再生歯科医学会、バイオインテグレーション学会）

### 4. 報告事項

- 1) 第5回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨（資料1）が承認された。
- 2) 大島勇人理事（日本再生医療学会）より、資料2に基づき参加学会（29学会・団体、日本歯科医学会、国公立大学歯科臨床研究推進会議、日本再生医療学会）担当者一覧の説明があり、担当者が決まっていない学会については担当者を確認して欲しい旨説明があった。尚、国公立大学歯科臨床研究推進会議については、リストに追加する旨説明があった。
- 3) 眞野恭輔事務局長（日本再生医療学会）より、資料3に基づき、再生医療等臨床研究促進基盤事業（ナショナルコンソーシアム）について、各モジュール進捗報告があった。再生医療臨床研究等に対する技術支援は歯科も含まれること、歯科再生医療臨床研究のデータベースシステムはエビデンスの構築に役立つとの説明があった。今後の窓口については、日本歯科医学会が良いのか、本協議会が良いのかは今後の検討課題であるとの議論があった。
- 4) 江副幸子幹事（日本再生医療学会）より、資料4に基づき、再生医療教科書「テキストブック再生医療～創る、行う、支える～」について報告があった。今年度から上級培養士の試験が開始されたことも説明された。
- 5) 古川和親幹事（日本再生医療学会）より、資料5に基づき、再生医療サポート保険（自由診療）について説明があり、全体（約700名を超える加入者）のうち歯科が3割超を占めること、10月1日から学会が保険の代理店事業を開始したことが報告された。
- 6) 大島勇人理事より、第4回再生医療産学官連携シンポジウム（2019年10月23日開催）の報告（資料6）に基づき、再生医療の施行状況について報告があった。
- 7) 大島勇人理事より、参考資料1に基づき、読売新聞に掲載された「再生医療無届け投与」の事例報告があった。

### 5. 協議事項

- 1) 大島勇人理事より、歯科再生医療推進ネットワーク協議会後援シンポジウムとして第19回日本再生医療学会総会におけるシンポジウムの詳細が報告された。開業医が興味を持てるような（例「PRP臨床応用における安全確保」）シンポジウムの企画の検討も示された。また、日本歯科医

療管理学会に日本再生医療学会が講師を派遣して再生医療教育の講演を行ったことも紹介された。

第19回日本再生医療学会総会（3/12～3/14：パシフィコ横浜）におけるシンポジウムについて

【テーマ】「歯科再生医療推進ネットワーク協議会後援セッション：歯科再生医学の現状と今後の課題について」（仮）

【座長】村上伸也（大阪大学大学院歯学研究科）、齋藤正寛（東北大学大学院歯学研究科）

【演者】1. 村上伸也（大阪大学大学院歯学研究科）：「脂肪幹細胞を用いた歯周組織再生療法」（仮）、2. 齋藤正寛（東北大学大学院歯学研究科）：「3次元培養技術を用いた新規骨再生療等製品の開発」（仮）、3. 網塚憲生（北海道大学歯学研究科）：「微細環境や細胞環境に基づいた再生技術の顎骨再生医療技術の開発」（仮）、4. 松本卓也（岡山大学大学院歯学研究科）：「バイオマテリアルを用いた骨再生医療技術の開発」（仮）

- 2) 大島勇人理事より、歯科再生医療推進ネットワーク協議会のホームページを立ち上げ、情報発信をする提案があった。再生医療学会ホームページの中のコンテンツ作成を検討することの説明があった。本協議会から各学会にデータベースのプロトコールを提示して、意見を聞くことで、歯科のデータベース構築ができるのではないかと提案があった。